

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	神学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 教育目標に基づいたディプロマ・ポリシーを策定（設定）する。	→ディプロマ・ポリシーの明示・公開（2011年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映〔心得に掲載〕）。	B
2. ディプロマ・ポリシーに基づいたカリキュラム・ポリシーを策定（設定）する。	→カリキュラム・ポリシーの明示・公開（2012年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映〔心得に掲載〕）。	C
3. ディプロマ・ポリシー、カリキュラムポリシーを踏まえて「履修モデル」を学生へ提示し、検証する。	→「履修モデル」の提示・公開と検証（2012年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映〔心得に掲載〕）。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

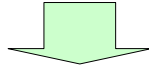
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.1.1	(方針) [明示・公開されるに至っていない] (現状説明) ディプロマ・ポリシーについてはすでに一定のものを策定・明文化し、教授会にて承認されている。ただしこれからカリキュラム・マップを含めたカリキュラム・ポリシー策定の過程で、より体系化して明示すべく工夫をすることの必要が想定される。
☆ 小項目6.1.2	(方針) [明文化に至っていない] (現状説明) カリキュラム・ポリシーについてはカリキュラム研究委員会を中心に明文化を検討し、2012年度までに明示・公開する予定である。なお履修モデルは、同委員会の下で先立って、各専門領域（旧約聖書学／新約聖書学／歴史神学／組織神学・宗教哲学／実践神学）の委員で検討を重ね、策定したものを履修要項およびWEBに掲載した。
☆ 小項目6.1.3	ディプロマ・ポリシーあるいはカリキュラム・ポリシーのいずれについても、その策定および明文化検討の過程のなかで専任教員だけでなく非常勤講師をも含めたFD研修会（学部）を開催し、教員間での議論の喚起、認識の共有を図っている。履修モデルについては2010年度より導入した卒業論文への誘導もあり、カリキュラム研究委員会の下で先立って、各領域の委員を中心に検討を重ね、策定した。これは2010年度の履修要項（心得）に一定の方針として掲載し、学生に周知されるよう試みている。
☆ 小項目6.1.4	カリキュラムの検討・検証は、カリキュラム研究委員会およびカリキュラム・ワーキンググループで実施してきた経緯があるが、各ポリシーの策定後もこれらの場においてさらに検討・検証を重ね、充実をはかっていきたい。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



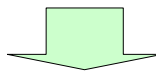
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	カリキュラム・ポリシーについては2010年 6月のFD研修会 (学部) における懇談、およびカリキュラム研究委員会 (学部) において策定に取りかかっている。
--------------	---

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○6.1.1の学位授与方針について、現在のディプロマ・ポリシーに改善の必要があると認められるのであれば、早急に作業をすることが望まれます。「B」評価は少し甘いように思われます。

【学内委員】

○目標にもかかげ、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを策定されようとしています。これらは、今後の教育上の基本となるものですので十分な検討を通して、着実に且つ出来るだけ早急な策定を望みます。

○「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行」における努力義務である「教育課程を通じて修得が期待される知識・能力の体系」について、早急な対応が期待されます。

○現状説明において課題などもあがっていますが、効果が上がっている事項や改善すべき事項はありませんか。

○ディプロマ・ポリシーあるいはカリキュラム・ポリシーの策定および明文化検討過程において、非常勤講師をも含めたFD研修会での議論喚起、認識の共有化は学部運営上好ましいものだと思います。

○周知、社会への公表についてはどのような現状でしょうか。

○この中項目全般について、神学部では、他学部に先行して進展していると考えます。従って、もっと積極的にプラス評価の報告をしても良いのではないのでしょうか。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.1.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.1.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.1.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.1.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数
6.1.0.S5	必修・選択ごとの開設授業科目数
6.1.0.S6	系列別卒業必要単位数

<個別的な指標>
